



月刊バイブル（世界のベストセラー、聖書のトリビア）

第 36 号

発行：レムナントキリスト教会

価格：100円（送料込みで200円）

【目次】

- ◎ 聖書からのメッセージ：「光よりも闇を愛した」エレミヤ
- ◎ 聖書の中の人々「アダム」
- ◎ イエスキリストに出会う「イエスとナザレの人々」
- ◎ キリストを信じた体験談「人間関係」by S
- ◎ 聖書に関する有名人のことば：ロナルド・レーガン
- ◎ 聖書贈呈

<聖書からのメッセージ >

「光よりも闇を愛した」by エレミヤ

本日は「光よりも闇を愛した」という題でメッセージしたいと思います。テキストは以下の箇所です。

ヨハネ3:19 そのさばきというのは、こうである。光が世に来ているのに、人々は光よりもやみを愛した。その行ないが悪かったからである。

3:20 悪いことをする者は光を憎み、その行ないが明るみに出されることを恐れて、光のほうに来ない。

テキストに沿って考えてみましょう。

「光が世に来ているのに、人々は光よりもやみを愛した。」

このことばの意味合いはどのようなものなのでしょう？考えてみましょう。ここで語られているのはこういうことです。この世の

人々の問題、彼らが神にとがめられるその理由は、このためです。すなわち、もうすでに正しい光、真理の光はこの世に与えられている、しかし、人々はあえてその光に背を向け、わざわざ闇を選んでいる。それゆえ神の怒りがこの世の人々の上に来る、そのような意味合いなのです。

すなわちこの世の人々の問題とは、まだどこからも真理を与えられていない、また世界のどこを探しても真理など見当たらない、という問題ではないのです。逆にすでに正しい光は与えられており、真理の光は与えられているのです。それなのにあえて真理の光に背を向け、闇を自ら選んでいる、そのことが問題である、とここでは語られているのです。

さて、このように聖書は語っているのですが、このことは本当でしょうか？私は本当のことだと思えます。例をあげて考えてみましょう。たとえば、人はどのようにして誕生したのか、人はどこから来たのか、という問題を考えて見ましょう。

「光よりも闇を愛した」by エレミヤ

このことに関して聖書は明確な光、真理を与えています。すなわち聖書の創世記に書かれているように、最初の人アダムもその妻エバも神により創造されたことを語るのです。以前の人々にとってはこの光は明確でした。過去の偉人、すなわち、有名な哲学者カントも万有引力のニュートンもこのことを知り、信じていたのです。

さて、このような明確な光に対して近代になって闇の教えが入ってきました。すなわち、19世紀に入ってきたダーウインの進化論です。進化論は人は偶然にできたものであり、人の一生も死も偶然に過ぎない、とする教えです。しかしよく考えるならこれは荒唐無稽な教えです。何故なら簡単な構造の品物、たとえば、ひとつのコップさえ、偶然にはできないからです。意思をもった人間が設計し、製作しなければ、コップはできあがらないのです。そうであるのに、コップよりはるかに高度な構造を持つ人間の目や頭脳や体が偶然になどできるはずがありません。事実進化論は確立した正しい学説ではなく、多くの矛盾のある教えです。もし、私たちが進化論に関して詳しく調べるならば、そのことがわかるでしょう。

「人々は光よりもやみを愛した。その行ないが悪かったからである。」

しかし矛盾した教えである進化論は、人々から歓迎され、神が人を創造された、というまっとうで矛盾のない教えは社会から排除されています。何故なのか？その理由として聖書は「その行ないが悪かったからである」として、我々の行ないがその理由であることを語ります。

ですからある人が「人間は神などにより創造されたのではない、進化したんだ」というとき、そのような考えを彼が受入れるその理由は、彼の行ないが悪いからなのです。

決して彼が聖書のすみずみまで調べてこの

本がインチキだとわかったから、というわけではないのです。あるいは、進化論の学説を隅々まで、調べて確かに矛盾のない教えだ、と納得したから、というわけでもないのです。

そうではなく、彼の行ないが悪いゆえ、神が存在する、という光や真理に耐えられなくて、それで、神など存在しない、人間が存在するのは偶然に過ぎない、とする進化論に引かれていった、に過ぎないのです。多少進化論の教えに矛盾を感じてもそれには目をつぶって、何しろ神は存在しないという考えが彼の利害に沿っているので、進化論を盲目的に受入れているのに過ぎないのです。

彼の悪い行ないが正しい神の存在、死後の世界で人々を裁く義の神、という存在を受入れることができないのです。逆に神がない、という闇の教えが彼の心に安らぎを与えるのです。

それで彼はその理論の根拠が多少薄かろうと、神が存在しない、と語る進化論を大喜びで受入れている、のに過ぎないのです。すなわち、その人の心の奥底の本音や、自分の悪い行ないが、彼の心に働きかけ、神など存在しない、という進化論を受入れさせるのです。決して彼が全てを調べて真理に到達したから進化論を受入れる、というわけではないのです。

私がまだ若い学生だった時です。クリスチャンでない友人に「人は進化したのではない、神により創造されたのだ」と語りました。その時の彼の答えは印象的でした。彼はこういったのです。「x xさん、人はみんな心の中ではそう思っていると思う。本当は人間は神様が創ったのでは、と思っていると思う」

このことばを聞いた時、それは私にとって非常に印象的でした。人は誰でも心の奥底で進化論には納得できない気持ちをもっているものなのだ、ということがわかったのです。

「光よりも闇を愛した」by エレミヤ

3:20 悪いことをする者は光を憎み、その行ないが明るみに出されることを恐れて、光のほうに来ない。

私たちの理解では聖書に真理があり、ここに正しい光がある、と思われるのです。しかし、そうであっても聖書など読みたくもない、触れたくもない、という人もいます。何故なのでしょう？聖書はその理由として「悪いことをする者は…、光のほうに来ない。」と語ります。ですから人が正しい光を知らない、というとき、その人の行いやら、心の本音が関係してくるのです。

しかし、聖書を否定し、神の存在を否定したからといって、存在している神様がいなくなる、というわけではないのです。ですから、たとえ自分にとって多少不利な部分があっても、真理を認め、神による私たちの人生の解決や罪の問題の解決を求めるほうが正しいのです。

3:21 しかし、真理を行なう者は、光のほうに来る。その行ないが神にあってなされたことが明らかにされるためである。

しかし、真理を求め、行う人は正しい真理の光のほうにきます。そして聖書を通し、キリストにあい、真理を見るのです。

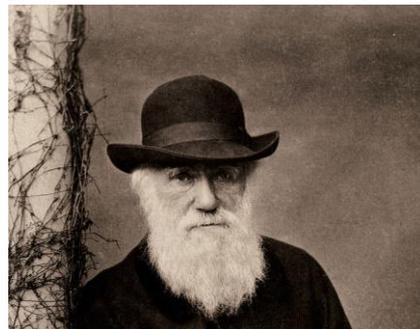
自分自身のことをいうのも恐縮ですが、私は16歳の時、キリストを信じました。子供の時から教会に行っていたので、聖書の話は聞いていたのですが、はっきりキリストを信じてはいませんでした。そんな時、姉に誘われキリスト教のキャンプへ参加したのです。1週間のキャンプの中で毎日神のこと、キリストのことを聞きました。私はこの話はもしかすると本当かもしれない、真理かもしれないと思いました。しかし、信じるという決心もつきません。それで、私はキャンプの中で神に祈ったのです。「神様が本当に存在しておられるなら、私にわかるようにしてくださ

い」そうしたら、しばらくして、不思議なことが起こりました。キャンプの集会に参加する中で「これは本当のことだ、本当の光だ」という思いが私の中に湧き起こってきたのです。そして、私は自分の意思で神やキリストを信じるように決心したのです。

そうしたら、その日を契機にはっきりと色々な正しい真理が見えてきました。あたかも今まで暗闇の部屋で何も見えなかったのに、光が与えられて全てのことが見えるように正しいことがわかるようになったのです。

人が神により創造された、ということもわかりました。今まで学校へ行き、一生懸命勉強することが一番良いことだ、と思っていましたが、そうではなく、神様が語っていることが一番正しいのだということもわかってきたのです。

上記ことばに「しかし、真理を行なう者は、光のほうに来る。」と書かれています。私はその時、わからないながらも、また自分に不安を覚えながらも、「ここに真理があるなら、その真理の光から逃げてはいけない、正しく見よう」と思っていました。それが良かったのかもしれないかもしれません。何とかかんとか、真理の光を求めた私は神様の開いた真理に触れ、光を受けることができたのです。ですから、繰り返しますが今の時代、私たちが知るべき正しい真理の光は与えられています。そして神の真理を求める人はそれを見出し光を見出すのです。このことを知しましょう。



闇の教え進化論

聖書の中の人々「アダム」

バイブルとはギリシャ語で本という意味であり、世界で最も読まれている本です。聖書は旧約、新約で全 66 巻あり、旧約はヘブル語で記され、新約はキリスト以降のことがギリシャ語で記されています。

聖書は他の本と大きく異なった点があります。人間が自分の意志で書く一般的な本とは違い、神の靈感によって書かれたものなのです。日本には言霊というような言葉には霊が宿るという考え方がありますが、聖書は真の神の霊によって記された神の言葉なのです。聖書はギリシャ神話などのように、人が創作した神話ではありません。

そしてこの聖書の中には多くの人々が記されています。どのような人々であったのでしょうか。

最初に聖書に記されている人はアダムです。

旧約聖書「創世記」1 章には、全知全能の神が、宇宙、世界、存在するすべてを創造されたことが記されています。そして創世記 1 章～2 章では、神が人を創造されたことが記されています。

創世記 1:27「神は人をご自身のかたちとして創造された」

創世記 2:7「神である主は土地のちりて人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで人は生きものとなった。」とあります。こうして人間は生まれたのです。

そして、私たち人類は、土から特別に神様に似せて創られたのでした。他の生き物の創造の時は、神様は自分に似せようとはされませんでした。人は特別に神の息、いのちの息を吹きこまれています。いのちの息というのは神の霊です。アダムはいのちの息によって、死ぬことなく永遠に生きる命が与えられました。

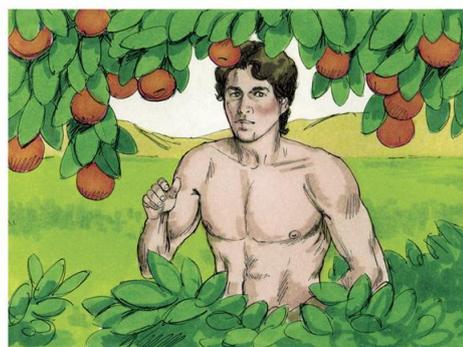
また、霊的な存在である神様のいのちの

息を吹き込まれたことで、人は霊的な存在となりました。ほかの動物は神の霊が有りません。人間はほかの動物とは全く違う特別仕様なのです。神は愛する対象として人間を特別に創造されました。私たちは偶然に生まれた生命体でもなく、サルから進化したような者ではないのです。私たちは神様から愛する者として創造されたのです。誰一人として同じ人はおらず、一人一人が特別な存在です。そして最初の間人はアダムと呼ばれています。これは土(アダマ)から創られたところからきています。神はアダムを愛し大切にされました。

創世記 2:8 では「**神である主は東の方エデンに園を設け、そこに主の形造った人を置かれた**」とあります。

神は地上の東の方にエデンの園を設けそこに人を置かれました。ピション、ギホン、ティグリス、ユーフラテスの 4 つの川がエデンを潤していたとあります。エデンの園は架空の場所ではなく実際に存在していました。ここでアダムは神の愛の庇護のもと平和に過ごしました。

しかしその後、妻であるエバと共に神の命令に逆らい、エデンの園を追放されてしまうのです。そしてこの時から人間の苦難が始まるのです。



アダム

イエスキリストに出会う「イエスとナザレの人々」

イエスキリストは2000年ほど前イスラエルに救い主として来られました。その当時の人々は実際のイエスと会うことができました。今は聖書を通してイエスに出会うことができます。

マタイ13:54~58

それから、ご自分の郷里に行って、会堂で人々を教え始められた。すると、彼らは驚いて言った。「この人は、こんな知恵と不思議な力をどこで得たのでしょうか。この人は大工の息子ではありませんか。彼の母親はマリヤで、彼の兄弟は、ヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではありませんか。妹たちもみな私たちといっしょにいるではありませんか。とすると、いったいこの人は、これらのものをどこから得たのでしょうか。」こうして、彼らはイエスにつまずいた。しかし、イエスは彼らに言われた。「預言者が尊敬されないのは、自分の郷里、家族の間だけです。」

そして、イエスは、彼らの不信仰のゆえに、そこでは多くの奇跡をなさらなかった。

イエスはイスラエルのガリラヤ地方のナザレというところで育たれました。しかし、イエスがお生まれになった場所は、ユダヤ地方のベツレヘムです。聖霊によりイエスを宿した処女マリヤと夫ヨセフは、当時のローマ皇帝アウグストの全民に住民登録させよという勅令に従い、登録の為にユダヤのベツレヘムを訪れた時に誕生されたのです。メシヤ・救い主が生まれるのはユダのベツレヘムであるという旧約聖書の預言の通りでした。その後、イエスはナザレで成長され大工として過ごされたのです。

イエスが神の御子としての働きを公にされたのは30歳の時です。神の国のことを教えられ始めてから、多くの奇跡を行い、病を癒し、不思議な神の御業をされ、群衆がイエスを求めてつき従ってきました。

イエスが故郷であるナザレに行ったとき、「この人は、こんな知恵と不思議な力をどこで手に入れたのでしょうか」とナザレの人々は驚愕します。「この人は大工の息子ではありませんか。彼の母親はマリヤで、彼の兄弟は、ヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではありませんか。妹たちも私たちといっ

しょにいるではありませんか。」と言い、ナザレの人々は、神の御子として現れたイエスを受け入れることができませんでした。ナザレの人々にとってイエスは「近所の大工の兄ちゃん」にしか見えなかったのです。ナザレですっとイエスが近くに居られたので、イエスのことが自分たちと同じ人間のようにしか感じられなかったのです。彼らは目に見えていること、自分たちが知っている範囲でしか物事を知ろうとはしませんでした。自分の考えや、目にみえている現状だけで物事を判断していくなら真実はわかりません。神様のことはわかりません。

同じ出来事が記されたマルコの福音書6:6節では「イエスは彼らの不信仰に驚かれた。」とあります。そしてほとんど奇跡を行われませんでした。信仰がないところでは、イエスは神の御力を表すことはされません。ナザレの人々はその不信仰のせいで、他の地方の人々のように神さまの恵みを受け取ることができませんでした。

せっかく主イエスが訪れたのに、イエスにつまずき拒否したからです。ナザレの人々は永遠の命を得る大切なチャンスを自ら捨ててしまいました。

ナザレの人々のようにイエスを単なる人間と考えるなら、永遠のいのちを得ることができません。

ヨハネ6:47「まことに、まことに、あなた方に告げます。信じる者は永遠のいのちを持ちます。」とあります。イエスを神の御子と信じるのが、滅びの死から解放され、永遠のいのちのつながるのです。



ナザレのイエス

キリストを信じた体験談「人間関係」 by S

某クリスチャンの証ではありますが・・・その方はある職場で働いていたそうです。けれども、その職場の同僚のことでとても悩んでいたそうです。いわば、人間関係でトラブルがあったらしいです。たしか、その方は同僚の方に意地の悪いことを言われたり、されたりしていたそうです。それで困ってしまって、弱ってしまって、そのことを家族にも相談したこともあったそうなのですが・・・しかしある時、突然解決したそうです。その様子を不思議に思った家族は、「どうして解決できたの？」と聞いてきたそうです。そうしたら、「単に祈ったの。」とひと言おっしゃったそうです。

この話は以前、ある月刊誌で読んだ証なのですが、私の心に感動を与えるものとなりました。その当時、自分はクリスチャンでありながらも祈る習慣がほとんど無かったのですが、祈りの効果はすばらしい！なんていうことを改めて思わされました。

もし、何か悩んでいたたり、どうにもならなくて困っていたりしたら、神さまに祈ってみてください。きっと良い解決が与え

られると思いますので、ぜひ、おすすめいたします。

よろしければ・・・こんな風に祈ってみたら良いのでは？と思った聖句がありますので、紹介して終わりにします。



人間関係

キリストを信じた体験談「人間関係」 by S

詩篇 17:1 主よ。聞いてください、正しい訴えを。耳に留めてください、私の叫びを。耳に入れてください、欺きのくちびるからでない私の祈りを。

17:2 私のためのさばきが御前から出て、公正に御目が注がれますように。

17:3 あなたは私の心を調べ、夜、私を問いただされました。あなたは私をためされましたが、何も見つけ出されません。私は、口のあやまちをしまいと心がけました。

17:4 人としての行ないについては、あなたのくちびるのことばによりました。私は無法な者の道を避けました。

17:5 私の歩みは、あなたの道を堅く守り、私の足はよろけませんでした。

17:6 神よ。私はあなたを呼び求めました。あなたは私に答えてくださるからです。耳を傾けて、私の申し上げることを聞いてください。

17:7 あなたの奇しい恵みをお示してください。立ち向かう者から身を避けて右の手に来る者を救う方。

17:8 私を、ひとみのように見守り、御翼の陰に私をかくまってください。

17:9 私を襲う悪者から。私を取り巻く貪欲な敵から。

17:10 彼らは、鈍い心を堅く閉ざし、その口をもって高慢に語ります。

17:11 彼らは、あとをつけて来て、今、私たちを取り囲みました。彼らは目をすえて、私たちを地に投げ倒そうとしています。

17:12 彼は、あたかも、引き裂こうとねらっている獅子、待ち伏せしている若い獅子のようです。

17:13 主よ。立ち上がってください。彼に立ち向かい、彼を打ちのめしてください。あなたの剣で、悪者から私のたましいを助け出してください。

17:14 主よ。人々から、あなたの御手で。相続分がこの世のいのちであるこの世の人々から。彼らの腹は、あなたの宝で満たされ、彼らは、子どもらに満ち足り、その豊かさを、その幼子らに残します。

17:15 しかし、私は、正しい訴えで、御顔を仰ぎ見、目ざめるとき、あなたの御姿に満ち足りるでしょう。



詩篇の作者ダビデ

聖書に関する有名人のことは：
ロナルド・レーガン 米国40代大統領



米国とその国民を比類のないものとして形作った多くの影響の中で、その基礎や、耐えるものとして聖書以上のものを語るができない。

<お知らせコーナー>

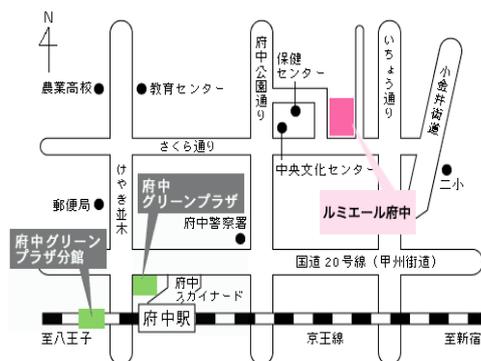
●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日/午前 10:30-12:30,午後 14:00-16:00

場所:東京都、京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館

1F のエレベーター脇の部屋表示板で、「レムナントキリスト教会」の部屋を確認ください。

どなたでも来会歓迎、入場無料です。tel:042-364-2327, mail:truth216@nifty.com



★ 教会のHPもあります。

ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。

尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>